

2号機オペフロ内シールドプラグ穿孔部調査について

2021年7月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

➤ 経緯

2021年3月に2号機オペフロ調査（その3）の線量調査を実施。

2021年4月に規制庁と協働し，2号機オペフロ床面の表面汚染密度調査を実施。

✓ オペフロ線量調査結果としてシールドプラグ上部の線量当量率が他の場所より1桁程度高かった。

✓ オペフロ床面の汚染密度はほぼ一定であった。

⇒シールドプラグの下部及び隙間からの影響が大きいと評価。

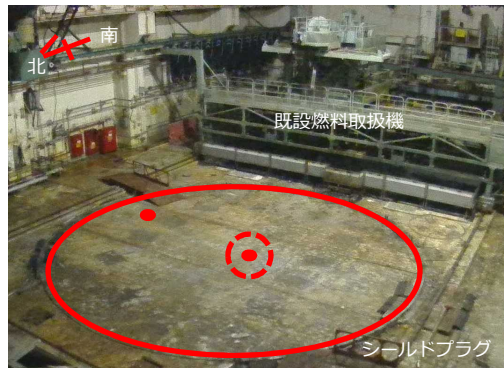
➤ 目的

オペフロ床面の表面汚染影響を受けにくい測定方法を実施することにより，シールドプラグ下部及び隙間に付着していると推定している評価の確度向上を目的として調査を実施。

当該調査結果は，事故分析及び今後実施するデブリ取り出し側のインプット情報として活用。

1 - 2. 2号機シールドプラグ既存穿孔箇所を用いた調査

- 早期の測定が可能な方法として既存穿孔箇所を活用した測定を実施。
- 既存穿孔箇所の調査結果をふまえ、シールドプラグ鉄筋のかぶり厚さ（100mm程度）分を穿孔し、新規箇所での調査も実施できるよう、検討中。
- 前回実施したオペフロ床面の表面汚染密度調査同様、規制庁と協働で調査を実施。



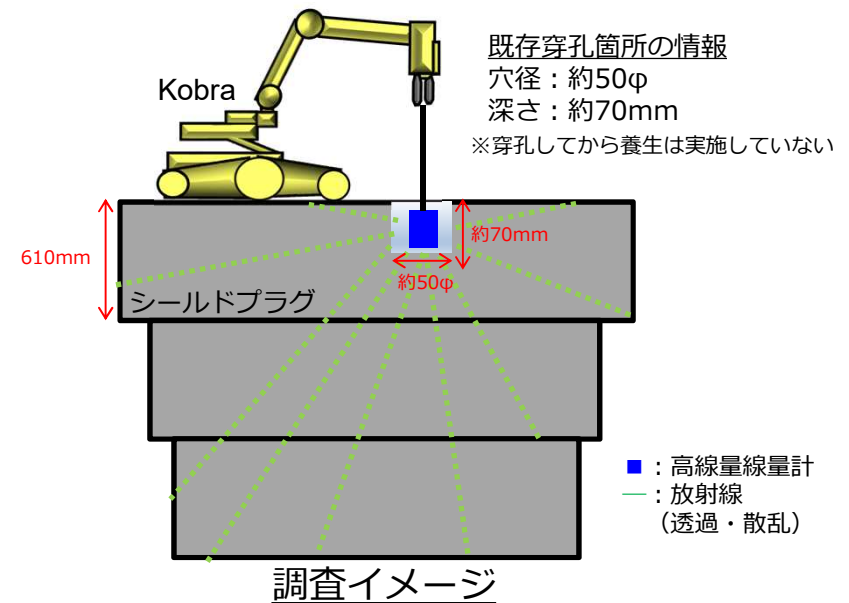
既存穿孔箇所配置 ●: 既存穿孔箇所



部拡大現場状況



※規制庁準備品

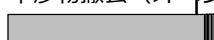


調査方法

- ・測定器の検出器をKobraで把持し、穿孔箇所へ挿入する。
- ・PackBotは、計測器の表示確認及び作業状態を監視し、遠隔作業をサポートする。

2. 既存穿孔箇所を活用した調査のスケジュール

- 廃炉側の作業に影響を与えないように、既存穿孔箇所を活用した調査、新規箇所での調査の検討を進めていく。
- 既存穿孔箇所を活用した調査時期は、8月下旬実施予定。（実施時期調整中）

	2020 年度	2021 年度								2022 年度	2023 年度以降
	4Q	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	3Q	4Q		
オペフロ内線量低減対策	オペフロ調査（その3） 	除染（その1）モックアップ 								遮蔽設置（その1）  干渉物撤去（オペフロ内） 	除染（その2） 遮蔽設置（その2） 
		除染（その1） 									
シールドプラグ穿孔部調査		既存穿孔箇所を活用した調査可能期間 ★調査予定									

※工程の進捗により変更する可能性有